

ますだ裕二物語

～日本一住みやすい中区を目指して～

1 街頭や駅でのご用聞きで、地域の問題を聞きとりさせていただいています。



2 インフラ整備のハードは進んでいますが、耐震工事(メンテナンス)と安心・安全(地域防災など)いわゆるソフトな部分への対策が必要です。



3 市・県・国がしっかりとタッグを組んで、子供からお年寄りまで、一緒に楽しめる安心・安全なまちづくりを進めていきます!



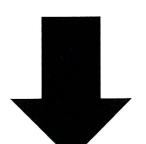
4 そして、リニアインパクトを見据え、金山の再開発・日本一大須商店街など、愛知県で一番魅力あるまちづくりを、皆さんと一緒に創りていきます。



イラスト: karamoo(カラムー)
ますだ裕二は学生の活動を支援しています。

～あなたの街の危険な箇所を聞かせてください～

FAX
052-332-5684



ますだ裕二事務所

住所

氏名

ますだ通信

愛知県議会議員 ますだ裕二 中区選出



～平成28年～

プロフィール

生年月日 1974年7月16日(41歳)

家族 妻・長男・次男

中区生まれ 中区育ち 橋小学校 伊勢山中学校出身
本年度は、警察委員会・中京大都市圏調査委員会に所属します。



2015年議会活動報告

■県営住宅での「シルバーハウジング」の増床を実現

収入に応じた賃料で、手すり配置・段差解消・緊急通報システム・ライフサポートアドバイザーによる見守り等が付いた、低所得者向け高齢者専用住宅「シルバーハウジング」の整備充実を要望し、実現化されることになりました。



■信号機操作盤の老朽化問題について警察委員会で要望

【Q】全国の信号機に設置された制御器の2割近くが耐用年数である19年を過ぎていますが、信号の誤作動は交通事故に直結するため、早期の改修工事を要請する。

【A】愛知県でも**13175基のうち4125基(31.3%)**が19年の更新基準年数を経過している。

※平成27年度は**343基**の制御盤の更新が決定。



■客引き・ぼったくり問題に警察委員会で言及

【Q】昨今では、歓楽街である栄地区での客引き・ぼったくり行為が横行しているが、県警としての取り組みを伺う。

【A】愛知県警では、ぼったくり壊滅プロジェクトを立ち上げ、総力を挙げて取り組む姿勢である。また官民一体となった被害対策弁護団との協同により、ぼったくり壊滅に努めていく。

【要望】東京都や大阪府のように、ぼったくりを取り締まる「ぼったくり防止条例」の制定を強く要望する。

県政の相談・地域のお困りごと相談は

愛知県議会議員 ますだ裕二事務所

〒460-0012 名古屋市中区千代田4丁目17番8号 千代田ビル2階
TEL: 052-324-3947 FAX: 052-332-5684



《公式ホームページ》

「橘学区東部保存版」新聞

西別院Oneコイン朝市



毎月 28 日、NPO 法人で朝市を開催させて顶いています。

【歩道橋の整備】

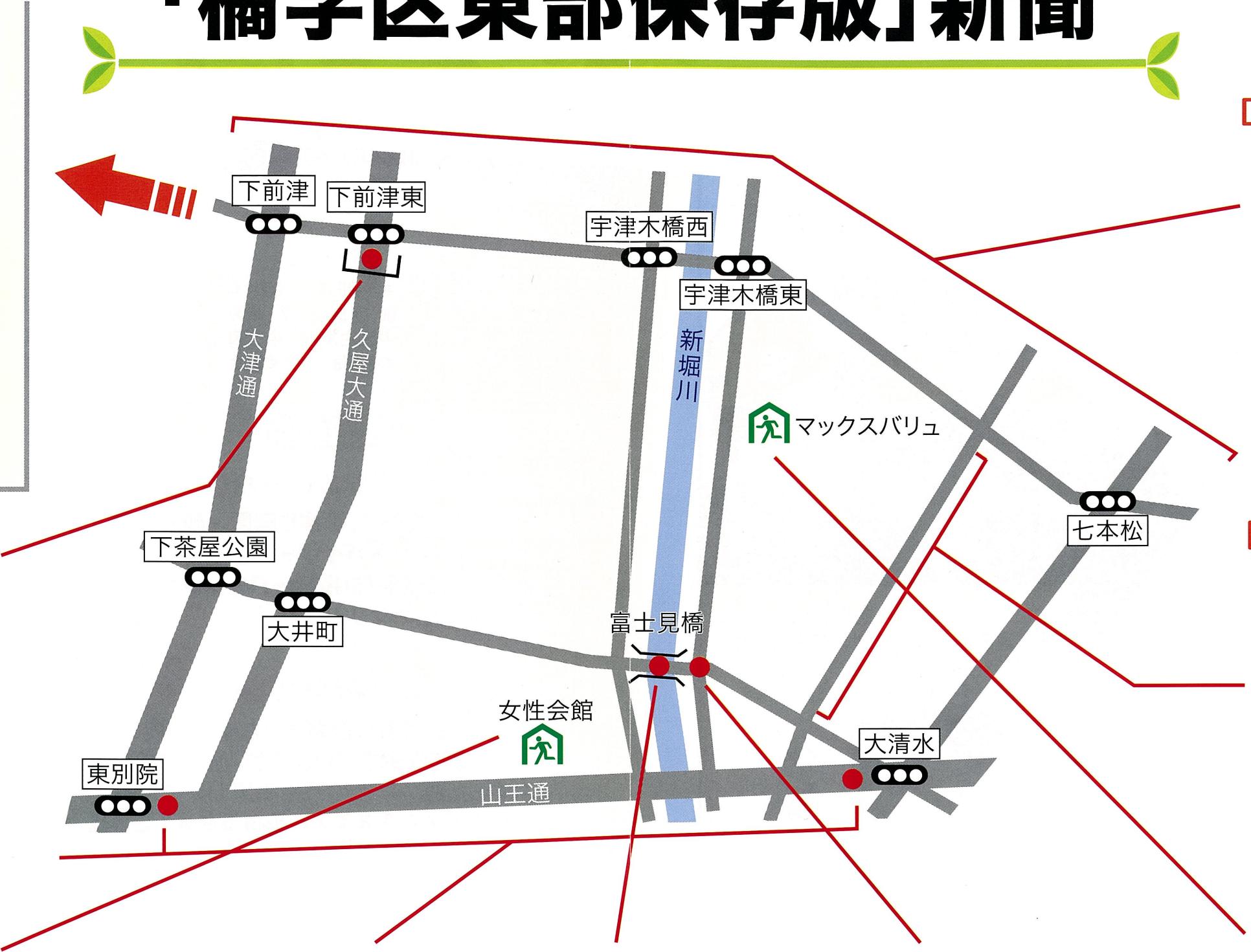


小学校の通学路指定されている歩道橋の老朽化に伴う改修工事を道路管理者に要望しました。来年度予算で、改修工事の申請を挙げていただけることになりました。

【指定避難所の増設】



指定避難所（橘小学校）が遠い橘学区東部に、新たに「イーブル名古屋」が指定避難所とされる事になりました。地域の皆様と一緒に、長期に渡り訴えかけて実現しました。



【山王通 U ターン禁止の解除】



山王通の中区内は昭和55年以降全面Uターン禁止であります。地域の皆様と一緒に警察当局に粘り強く交渉した結果、35年ぶりに全面規制解除されました。

【橋の街路灯の移動】



街路灯が歩道に設置され、歩道が狭くなっているため、自転車や乳母車のすれ違いが困難でした。地域の皆様の要望を頂き、来年度予算で移動する事が決まりました。

【ガードポールの設置】



子どもの通学路である交差点で、車同士が接触し、車が歩道に投げ出される事故が発生しました。子どもたちの安全を確保するため、地域住人と一緒に要望し、ガードポールの設置、速度規制の表示版設置を実現しました。

【止まれ（交通安全施設）白線引き直し】



一時停止無視、一方通行無視の多かった交差点の白線引き直しを要望し、実現しました。

【街路灯の整備(LED化)を実現】



各交差点の角についている安全灯が暗く犯罪が多かった地域で、夜道を歩く子どもたちが安心して通行できるように、路地裏の街路灯整備をお願いし、実現しました。

【地域防災協定の締結】



災害時には、マックスバリュの駐車場や、2階の仮眠室、トイレを利用させていただく「地域防災協定」を実現しました。